正月山行　前穂北尾根（慶応尾根撤退）

2012年12月29日(土)～2013年1月1日(日)
リーダー：坂野　メンバー：大山(記)

１２月２９日（晴れ）

前夜の降雪で長野道が塩尻北より先が通行止めとのこと。ＩＣ手前３キロくらいから渋滞となり
通過に１時間かかった。

沢渡は曇っていたが上高地は天気がよく穂高連峰が輝いていた。しかし週間予報では今後の
天気はあまり期待できない。

新村橋を渡ったところで１日目は行動終了。

（タイム）
釜トンネル10：19～大正池11：16～バスターミナル12：05～徳沢14：28～新村橋14：57

１２月３０日（曇り/雪）

朝、出発準備をしているとテントの横を通過していく集団があり、同じルートに行くと思われる。

ヘッドライトを点けて出発する。夏道どおりに林道を進んで奥又白谷沿いに上がって行くプランだったが、林道にトレースはなく、すぐ樹林帯に入っていた。地図を確認し、樹林帯をショートカットして奥又白谷の堰堤付近に行っているのだろうと判断してトレースを追うことにする。

堰堤付近で谷を横切り慶応尾根に乗る。もともとのトレースが今日のトレースより古く見えたので朝の集団もトレースを追っているのだろうと判断し、尾根に乗ったところで輪かんをアイゼンに履き替えた。ほどなく前の集団に追いつくが、どうもラッセルして新しいトレースをつけているようで、こちらも急いで再び輪かんに履き替える。

１９００ｍあたりでまた追いついてラッセルの順番に入れてもらう。意識的にリーダー坂野の前に入る。集団は６人で、大阪の山岳会のようで（以下、大阪チーム）、聞いてみるともともとあったと思っていたトレースは、大阪チームが前日に付けに行ったものだった。

屏風の頭への分岐の辺りで順番が狂い、リーダー坂野の後ろになってしまった。しかしそのラッセルのスピードには付いていけず、後ろを見ると大阪チームは足を揃えているのか来ていない。大阪チームがいなければいつものパターンだし、開き直って自分のペースで行くんだけど…。そうこうしているうちに大阪チームが追いついてきて、このままでは脱落すると思いリーダー坂野に声をかけて体力に余力のあるうちにラッセルを代わってくれと訴える。

疲れていたが他会の手前、必死でラッセルした。幸いなことにラッセルのスピードはそれほど速くなかったので交替した後は休憩を取れる。交替した後はすかさずリーダー坂野の前に入る。

また一巡してリーダー坂野のラッセル。二番手は大阪チームの女性。みるみる間が空いてしまうのを休憩しながら観察していた。

二番手とはいえトップが除雪した後にステップを刻まなくてはならず大変だ。大阪チームの女性２人を含む３人が交替し、４人目で２４６０mピークで休憩しているリーダー坂野に追いつく。後でリーダー坂野が語ったところによれば「ラッセル泥棒」と言われるのが嫌だから今朝の分を取り戻すべくがんばったとのこと。お疲れさまでした。

大阪チームは２４６０mピークを下ったところのコルでテントを張り、自分たちはその少し手前の斜面に張った。夜、天気図を取ってみて、昨日はなかった南岸低気圧とその進路予想に鬱。

（タイム）
新村橋06：07～尾根07：05～２４６０ピーク13：50

１２月３１日（雪）

夜、強風が吹いたが朝には収まっていた。雪は降っていたが空は明るい。意外にいいのかも？と様子見をしようかとも話したが、ラジオでもこれから強い冬型になると散々言っているし、昨日の気象通報でも南岸低気圧と日本海側の低気圧が北海道の辺りまで達する予測だった。天気が下降傾向なのは確実、本日行動可能か、明日は？下山はできるか？等、いろいろ考え、迷いながら撤退で合意。しかし決定した後も判断がブレかかったが、花村さんの教えである一回決定したことは覆さない原則を守り撤収した。大阪チームにリーダー坂野が挨拶に行ったが、向こうは様子見のようだったとのこと。

ひと晩でトレースは埋まっていたが、薄く残る痕跡を追ってリーダー坂野はあっという間に見えなくなる（所どころで待っていてはくれる）。１９００ｍくらいまで下りた辺りで登ってくる人とすれ違う。林道に下りると、昨日は気にならなかった荷物の重さが肩と腰とにかかり、足取りも重くなる。雪混じりの強風に吹かれながらバスターミナルにたどり着き、吹き溜まりの雪を整地してテントを固定する。気温も下がり、濡れた装備はシュラフを含め凍っていた。

（タイム）
テント場08：05～新村橋11：04～明神12：49～バスターミナル14：10

１月１日（雪）

朝起きると静か。満天の星空だったらどうしよう…と思いながら外へ出ると静かに雪が降っていた。雪の降りしきる中を下山、たくさんの入山者とすれ違う。元旦から営業している温泉があるかどうか心配したが、駐車場ちかくの「こもれびの湯」がやっているとタクシー運転手さんからの情報があり、お風呂が小さいのを心配したが、時間が早いこともあり貸しきり状態で使えて気持ちよかった。

（タイム）
バスターミナル08：24～大正池09：09～釜トンネル10：16